

日本国際看護学会 2019年度 西日本研修会報告

開催日：2020年 2月 15日(土) 13:00 ~ 16:30

会場：兵庫大学 17号館 407

テーマ：これからの国際看護学-世界に普及した母子健康手帳から学ぶこと-

講師：甲南女子大学 教授 中村安秀 先生

2020年 2月 15日(日)兵庫大学にて、講師に甲南女子大学の教授 中村安秀 先生を迎え、「これからの国際看護学-世界に普及した母子健康手帳から学ぶこと-」に関する研修会が開催されました。I部の中村先生の講演で、II部では講演を踏まえて、参加者の皆様にグループワークが行われました。講演では、中村先生の海外での経験を交えながら、母子保健及び、母子健康手帳の導入に関する内容を教授されました。II部のグループワークでは、講師の先生の学びの共有とこれからの国際看護学について話し合いました。グループワークでは、参加者自身の国際看護学への考えや、日頃の悩み、などを共有する機会となりました。

研修会の様子

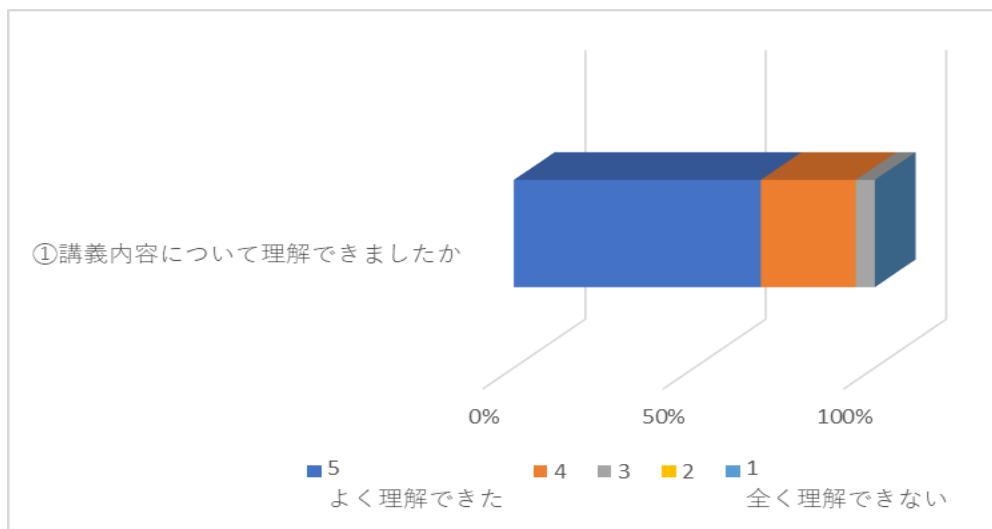




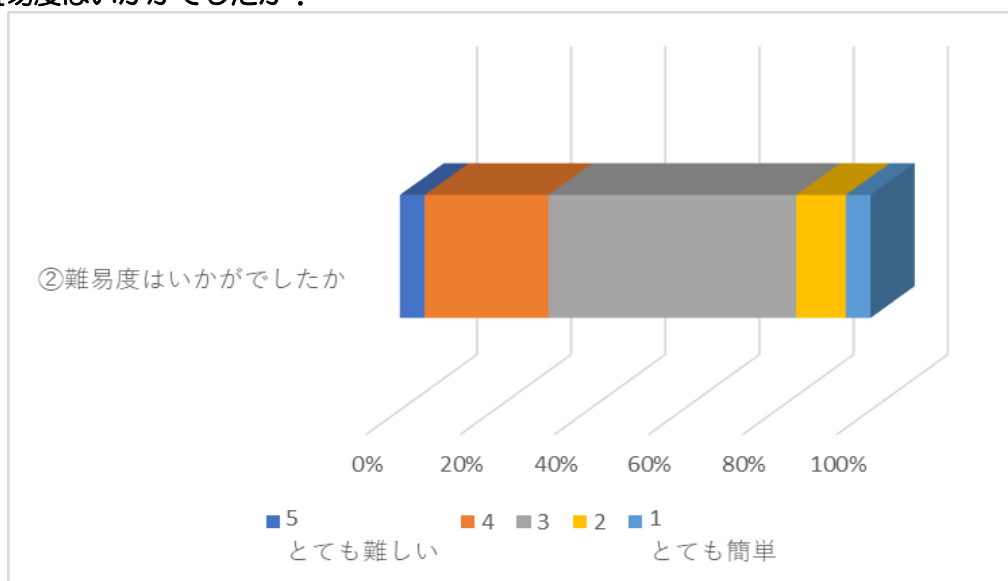
アンケート結果について

1. 内容について

①講義内容について理解できましたか



②難易度はいかがでしたか？



③一番印象に残った内容は何ですか

- ・プライマリヘルスケア
- ・No one left behind 母子手帳は子どものもの、医療は文化であるということ
- ・母子手帳について
- ・すべて日本のものを持ち込むわけではない、その国の文化を重んじること
- ・誰ひとり取り残されない
- ・「赤ちゃんにとって大切な最初の1000日」
- ・母子健康手帳の大切さをあらためて実感
- ・母子手帳は日本で生まれたこと
- ・全国展開するためにベストなものを作ってから普及ではなく、全国へ普及させながらベストなものを作り上げるという考え

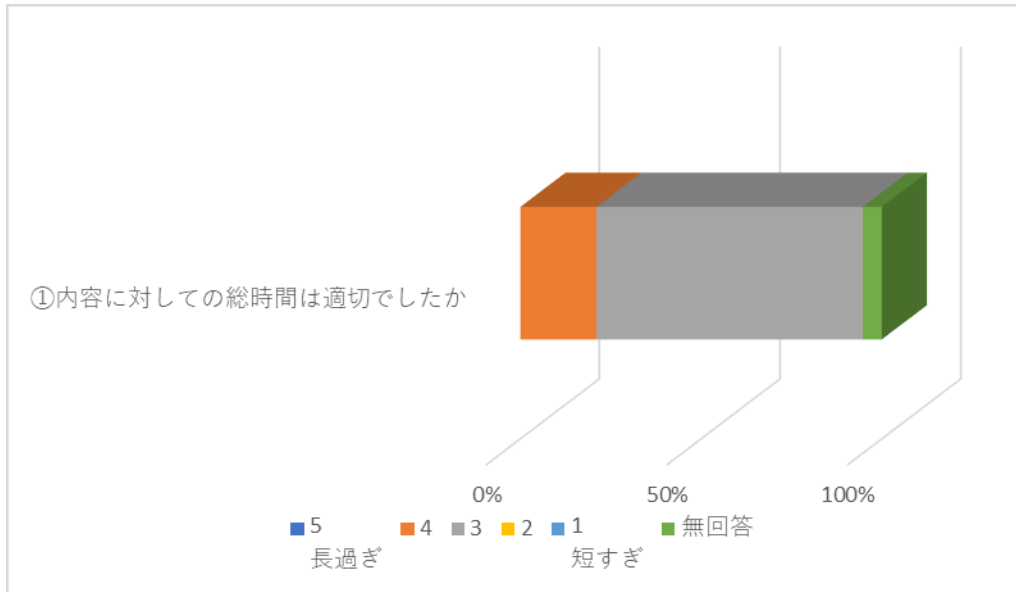
- 「国際保健医療学」のねらいとするところ
- 母子保健手帳の意義、誰のためにあるのか、というところ
- 母子健康手帳の流れから保健の大事さを知りました。
また、国際的に皆お互いを理解し支えることが大事です。
- PHC の内容、MDGs の達成、SDGs の内容と母子手帳、日本と海外の応用・内容、理論から実際に応用し普及までの国際協力医療の業績は一番印象に残った。
- 健康教育の大切さ
- QR コードのついている母子手帳
- 母子手帳の活用が広がった理由がわかりました
- 体重 1kg 以下の人は書くスペースがないということ
- 世界の母子手帳（絵・QR コード）
- ティンギ・ラジャ村ボランティアリーダーの言葉の「好きでボランティアをする人はいない、行政が何かしてくれるのを待つのではなく、コミュニティの人間ががんばらなきゃいけないんじゃないか」という言葉に感動しました。
- 今日の国際的な動向、母子の取り組みのインドネシアでの実例
- 母子手帳のすばらしさ、こんなにもすごい発明はないんだと思った。

④参加する前と参加した後ではあなた自身にどのような変化がありましたか。

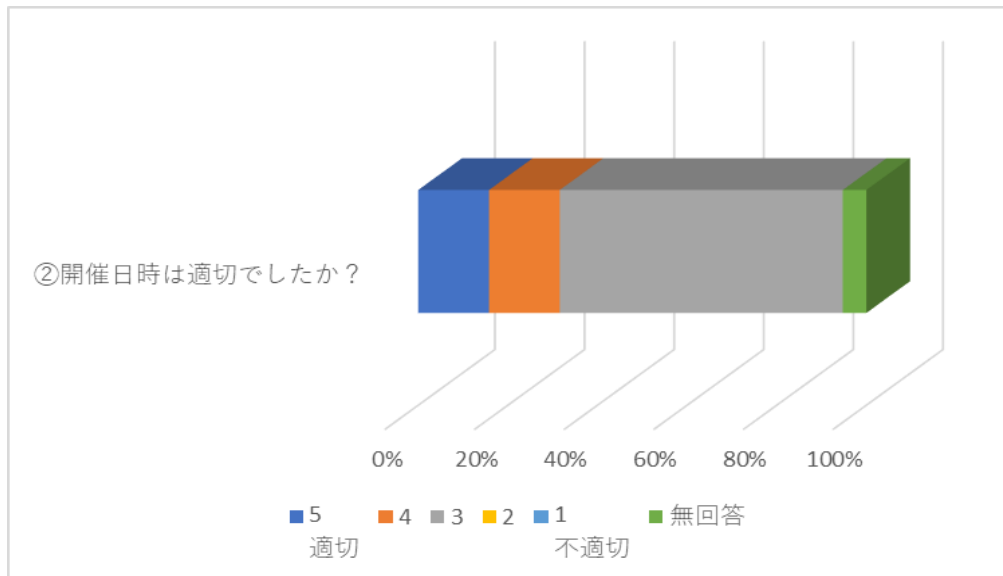
- 地道に活動する日々こそがとても貴重であるということがわかりました
- 母子手帳を単なる母子の記録と捉えていましたが、それ以上に親と子どものきずな、エンパワメントにつながっていることを知り、母子手帳の捉え方が変わりました
- 多様性というものを深く考えることが改めて大切だと感じました
- 母子手帳の活用を促す方法を今後考えていきたいと思った
- 看護学領域の教育面で今回の学びを活かせると思う
- 特に母子保健手帳で保健師の仕事を詳しくわかるようになりました
- 中国出身ですが、30 年前に生まれ、企画予防接種の手帳を持っていますが、母子手帳がなさそうです。ネットで調べると、中国は 2017 年に国から全国に推進するようになっています。PHC とか MDGs、及び SDGs は授業の時先生達に教えたことありましたが、かたいイメージでした。しかし、中村先生の授業を受けて、母子手帳は PHC の一輪として成果だとわかりました
- 現場で外国人の方に活用法を伝える
- 母子手帳が良いものであることが理解できました
- 母子手帳の活用について、普及すること
- 今まで何となしに母子手帳というものを見ていた。今回も国際看護に興味をもっていただけで、母子手帳にはそこまで興味をもっていなかった。しかし、今回の話を聞いて、本当に興味深いものと思った。
- もっと手帳のことを学びたいと思いました

2. 進め方について

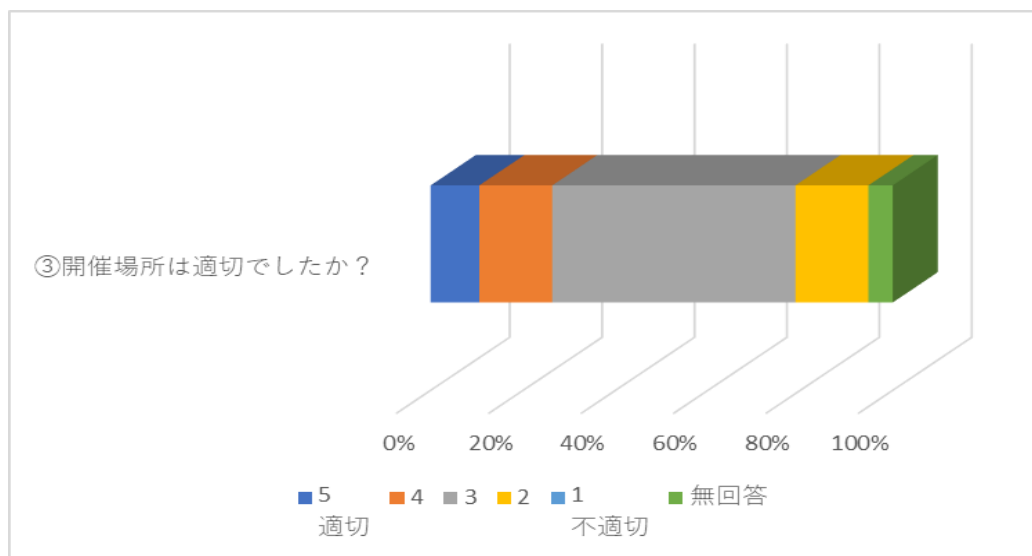
①内容に対しての総時間は適切でしたか？



②開催日時は適切でしたか？



③開催場所は適切でしたか？



④進め方について、その他ご意見がありましたら記述ください。

- ・よい研修だったので、もっと参加者を募れたらよかったのと思った
- ・国籍の違う方ともっとセッション出来たら良かったと感じます

3. 実務での活用等について

①研修会を受講し今後どのような行動を取られますか。

- ・課内で共有したいと思います
- ・今回学んだことをもとにさらに自分で探求していく
- ・一人ひとりの生活背景をよく知り、個別性のある指導・教育を目指していきたいです
- ・実践にいかしていきたい
- ・教員として講義内容にとりいれたい
- ・学内の活動で他の学生と内容共有していきたい
- ・母性看護学の概論で手帳の重要性を伝えていきます
- ・国際的な動きは大事と思っているので、自分の職場や研究にも活用する
- ・今後、日本で学んだ知識や内容を中国にもって行って、できるだけみんなに伝えます
- ・病院勤務なので、職場で研修参加報告として知ってもらえるようにします
- ・異文化の体験をしていく
- ・母子手帳交付に際して、活用の意義を広める
- ・自己の出産時に活用。また職場のスタッフへ伝達していきたい
- ・母子健康手帳に関する研究を続けたい

②現在、国際看護実践・研究であなた自身が悩まれていることは何ですか？

- ・保健師としての自覚について
- ・国際看護についての情報収集

4. その他

①今後開催してほしい研修内容等のご要望はありますか。

- ・WHO の活動内容
- ・日本に住む外国人に焦点を当てたもの
- ・各国の看護学教育の流れについて